



令和2年10月28日

管内経済情勢報告

令和2年10月

財務省福岡財務支局

〔問い合わせ先〕

財務省 福岡財務支局 経済調査課

TEL 092-411-9038

FAX 092-452-1318

1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、
 厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる」

項目	前回（2年7月判断）	今回（2年10月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる	➡

（注）2年10月判断は、前回7月判断以降、10月に入ってからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、百貨店・スーパー販売額及びコンビニエンスストア販売額の減少幅が縮小しているなど、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車の生産台数が前年を下回っているものの、輸出向けを中心に回復しているなど、一部に持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

項目	前回（2年7月判断）	今回（2年10月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響による厳しさが残るものの、足下では一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡
生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、一部に持ち直しの動きがみられる	➡
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	➡
設備投資	2年度は増加見込み	2年度は増加見込み	➡
企業収益	2年度は減益見込み	2年度は減益見込み	➡
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	➡
輸出	前年を下回っている	前年を下回っている	➡

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、新型コロナウイルス感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

百貨店・スーパー販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響により、百貨店では外出控えによる来店客数の減少により、前年を下回っているものの、スーパーでは引き続き巣ごもり消費により、食料品が好調なことなどから、全体では減少幅が縮小している。コンビニエンスストア販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響による外出控えなどで来店客数が減少したことから、前年を下回っているものの、外出控えによる中食需要で冷凍食品などが好調なことなどから、減少幅が縮小している。乗用車新車登録・届出台数は、普通車、小型車及び軽自動車いずれも前年を下回っているものの、減少幅が縮小している。ドラッグストア販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響によりマスクや食料品等が好調なことなどから、前年を上回っている。家電大型専門店販売額は、前年を上回っている。ホームセンター販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響により生活用品等が好調なことなどから、前年を上回っている。旅行取扱高（九州全体）は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に前年を下回っているものの、国内旅行については、持ち直しの動きがみられる。このように、個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

（主なヒアリング結果）

- 新型コロナウイルス感染症再拡大や台風、猛暑などの影響により、年配の方を中心に来店客数が減少。8月はお盆の帰省の自粛でお土産やおもてなしの需要が減り、食料品が不調であった。10月以降は、感染者数の減少やGoToトラベルの効果もあり、回復していくと見込んでいる。（百貨店、中堅企業）
- 引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けているが、緊急事態宣言下と比較すると、客足は戻ってきており、売上、登録台数ともに回復傾向にある。（自動車販売、中堅企業）
- 引き続き7月以降も、テレワークの増加でパソコンが好調、また巣ごもり消費や特別定額給付金の効果もあり、全体の売上は好調であった。また、8月は気温が高い日が続いたため、特にエアコンが好調であった。（家電量販店、中堅企業）

■ 生産活動 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、一部に持ち直しの動きがみられる」

輸送機械の自動車は、新型コロナウイルス感染症の影響により、生産台数は前年を下回っているものの、輸出向けを中心に生産が回復しており、持ち直しの動きがみられる。鉄鋼は、前年を下回っているものの、自動車向け鋼材等を中心に持ち直しの動きがみられる。電子部品・デバイスは、自動車産業の生産調整の影響が続いているため、低調に推移している。造船は、生産高は前年を上回るものの、受注残は減少している。このように、生産活動は新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、一部に持ち直しの動きがみられる。

- 7-9月期は海外需要が回復し、前年度と同水準まで生産が戻っている。また、10月以降は、前年を上回る生産の計画を見込んでおり、新型コロナウイルス感染症の影響から持ち直している。（輸送機械、大企業）
- 4-6月期を底に自動車産業の回復によって、鋼材の生産量は7月から回復基調にある。また、10月以降は、例年を上回る計画となっている。（鉄鋼、大企業）
- 自動車の生産調整によって、メーカー側で車載用電子部品の在庫が増加したため、10月以降は受注が減少し、年内は受注の回復が難しい状況となっている。（情報通信機械器具、中堅企業）

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

有効求人倍率は引き続き低下している。新規求人数及び新規求職者数は新型コロナウイルス感染症の影響により前年を下回っている。このように、雇用情勢は、弱い動きとなっている。

- 雇用調整助成金を活用していたが、足下の受注回復により9月からは休業せずに操業している。（金属製品、中堅企業）
- 引き続き雇用調整助成金を活用し、従業員の一部休業を行っている。（宿泊、大企業）
- 飲食店等が求人を中止していることから、アルバイトを募集すればすぐに充足する状況であり、人手不足感は解消している。（小売、大企業）
- コロナウイルス第2波到来への懸念から新規求人が出し控えられていたが、足下でも新規求人数は前年比減少している。（労働局）

■ **設備投資 「2年度は増加見込み」** (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年7~9月期

- 製造業では、「窯業・土石製品」等で減少見込みとなっているものの、「電気機械器具」、「非鉄金属」等で増加見込みとなっていることから、全体では増加見込みとなっている。
- 非製造業では、「宿泊、飲食サービス」等で減少見込みとなっているものの、「電気・ガス・水道」、「小売」等で増加見込みとなっていることから、全体では増加見込みとなっている。

- 今年度は、研究・生産施設の竣工に加え、新製品製造のためのライン増強等の設備投資を予定しているため、増加見込みとなっている。(電気機械器具、大企業)
- 昨年度に引き続き、製品増産にかかる工場への設備投資を実施する予定であり、増加見込みとなっている。(非鉄金属、大企業)

■ **企業収益 「2年度は減益見込み」** (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年7~9月期

- 製造業では、「その他の輸送用機械器具」等で増益見込みとなっているものの、「自動車・同附属品」、「電気機械器具」等で減益見込みとなっていることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業では、「小売」等で増益見込みとなっているものの、「宿泊、飲食サービス」、「建設」等で減益見込みとなっていることから、全体では減益見込みとなっている。

■ **住宅建設 「前年を下回っている」**

- 新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家、分譲住宅及び給与住宅いずれも減少していることから前年を下回っている。




■ **輸出 「前年を下回っている」**

- 輸出(円ベース)は、前年を下回っている。なお、輸入(円ベース)は、前年を下回っている。

(その他項目)

- 企業の景況感を法人企業景気予測調査(2年7~9月期)の景況判断BSIでみると、2年7~9月期は、「下降」超幅が縮小している。先行きについては、2年10~12期は、「上昇」超に転じる見通しとなっている。

3. 各県の総括判断

	前回(2年7月判断)	今回(2年10月判断)	前回比較	総括判断の要点
福岡県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、百貨店・スーパー販売額及びコンビニエンスストア販売額の減少幅が縮小しているなど、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車の生産台数が前年を下回っているものの、輸出向けを中心に回復しているなど、一部に持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、弱い動きとなっている。
佐賀県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、百貨店・スーパー販売額及び専門量販店販売額は前年を上回っており、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、輸送機械を中心に、一部に持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は、弱い動きとなっている。
長崎県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では一部に下げ止まりの兆しがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる		個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は横ばいの状況にあり、雇用情勢は同感染症の影響により、弱い動きとなっている。